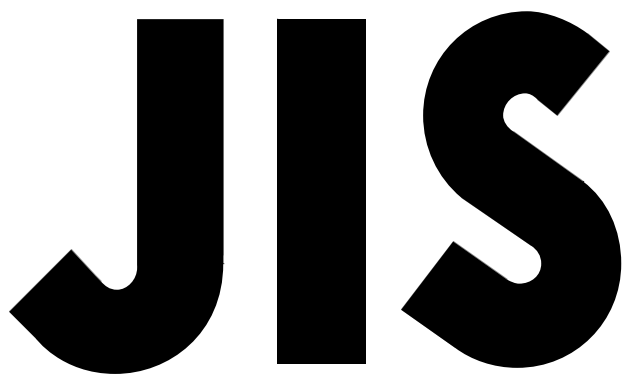




鋼製風雨密小形ハッチ

JIS F 2321 : 2006

(JMSA)

平成 18 年 8 月 10 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 船舶技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	矢 萩 強 志	財団法人日本船舶技術研究協会
(委員)	澤 山 健 一	国土交通省
	和 田 昌 雄	国土交通省
	鍛 地 楯 生	財団法人日本海事協会
	桐 明 公 男	社団法人日本造船工業会
	小 林 修	社団法人日本舟艇工業会
	近 藤 良太郎	社団法人日本電機工業会
	田 中 護 史	独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構
	井 上 彰一郎	日本小型船舶検査機構
	半 田 収	社団法人日本船主協会
	山 下 暁	社団法人日本船用工業会

主 務 大 臣：国土交通大臣 制定：昭和 36.8.1 改正：平成 18.8.10

官 報 公 示：平成 18.8.10

原 案 作 成 者：財団法人日本船舶技術研究協会（旧 財団法人日本船舶標準協会）

（〒105-0003 東京都港区西新橋 1-7-2 虎ノ門高木ビル TEL 03-3502-2130）

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会（部会長 二瓶 好正）

審議専門委員会：船舶技術専門委員会（委員長 矢萩 強志）

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者、国土交通省海事局 船用工業課 [〒100-8918 東京都千代田区霞が関 2-1-3 TEL 03-5253-8111（代表）] 又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 [〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1 TEL 03-3501-1511（代表）] にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、財団法人日本船舶標準協会(JMSA)から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、国土交通大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS F 2321:1999** は改正され、この規格に置き換えられる。

改正に当たっては、日本工業規格と国際規格との対比、国際規格に一致した日本工業規格の作成及び日本工業規格を基礎にした国際規格原案の提案を容易にするために、**ISO 5778:1998, Ships and marine technology—Small weathertight steel hatches** を基礎として用いた。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。国土交通大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権又は出願公開後の実用新案登録出願に係る確認について、責任はもたない。

JIS F 2321 には、次に示す附属書がある。

附属書 1 (規定) IACS UR S26 暴露甲板前方部に設置するハッチの強度及び締付装置に関する追加要件

附属書 2 (参考) 船用鋼製小形ハッチカバー

附属書 3 (参考) 船用鋼製小形ハッチカバー附属金物

附属書 4 (参考) **JIS** と対応する国際規格との対比表

目 次

	ページ
序文.....	1
1. 適用範囲.....	1
2. 引用規格.....	1
3. 主要寸法.....	1
3.1 呼び寸法.....	1
3.2 コーミング上部.....	2
3.3 カバー.....	4
3.4 附属金物.....	4
4. 材料.....	7
5. 製品の品質.....	7
6. 風雨密性の試験.....	7
7. 表示.....	7
附属書 1 (規定) IACS UR S26 暴露甲板前方部に設置するハッチの強度及び締付装置に関する追加要件	8
附属書 2 (参考) 船用鋼製小形ハッチカバー.....	12
附属書 3 (参考) 船用鋼製小形ハッチカバー附属金物.....	22
附属書 4 (参考) JIS と対応する国際規格との対比表.....	29
解 説.....	31

鋼製風雨密小形ハッチ

Ships and marine technology—Small weathertight steel hatches

序文 この規格は、1998 年に第 2 版として発行された ISO 5778:1998, Ships and marine technology—Small weathertight steel hatches を翻訳し、技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、原国際規格を変更している事項である。変更の一覧表をその説明を付けて、**附属書 4 (参考)** に示す。

1. 適用範囲 この規格は、船上で使用する鋼製風雨密小形ハッチの互換性を確保するために、その主要寸法、附属金物の位置と数、材料及び製品の品質について規定する。ここに規定していない寸法は、製作者の任意とする。

このハッチは、倉庫区域及び乾貨物倉への荷役作業並びに出入りに適している。このハッチは、いかなる種類のタンクへの出入口にも適しておらず、また、脱出用ハッチとしても使用しない。

このハッチは一般的に 1966 年の国際満載喫水線条約 (ILLC) の要件に合致している。第 1 位置又は第 2 位置に使用できるか否かは、それぞれの場合に応じて考慮しなければならない。必要あれば、ハッチカバーの剛性を増す。

備考1. この規格の使用者は、規格の要求事項を守ると同時に、それぞれの船舶が適用を受けるべき法令の要求事項や、船級協会規則を含んだ規則類を満足していることを確認する。

2. この規格の対応国際規格を次に示す。

なお、対応の程度を表す記号は、ISO/IEC Guide21 に基づき、MOD (修正している) とする。

ISO 5778:1998, Ships and marine technology—Small weathertight steel hatches (MOD)

2. 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版 (追補を含む。) を適用する。

ISO 262 ISO general purpose metric screw threads—Selected sizes for screws, bolts and nuts

3. 主要寸法

3.1 呼び寸法 ハッチの呼び寸法は、**図 1** 及び **表 1** に示すとおりとし、コーミング頂部の内のり寸法による。